

さがせ!

木の

せ..ん

『柏のしぜん』はどこにある？

このパンフレットを手にとったあなた。
あなたはすでに探し始めています、『柏のしぜん』を。

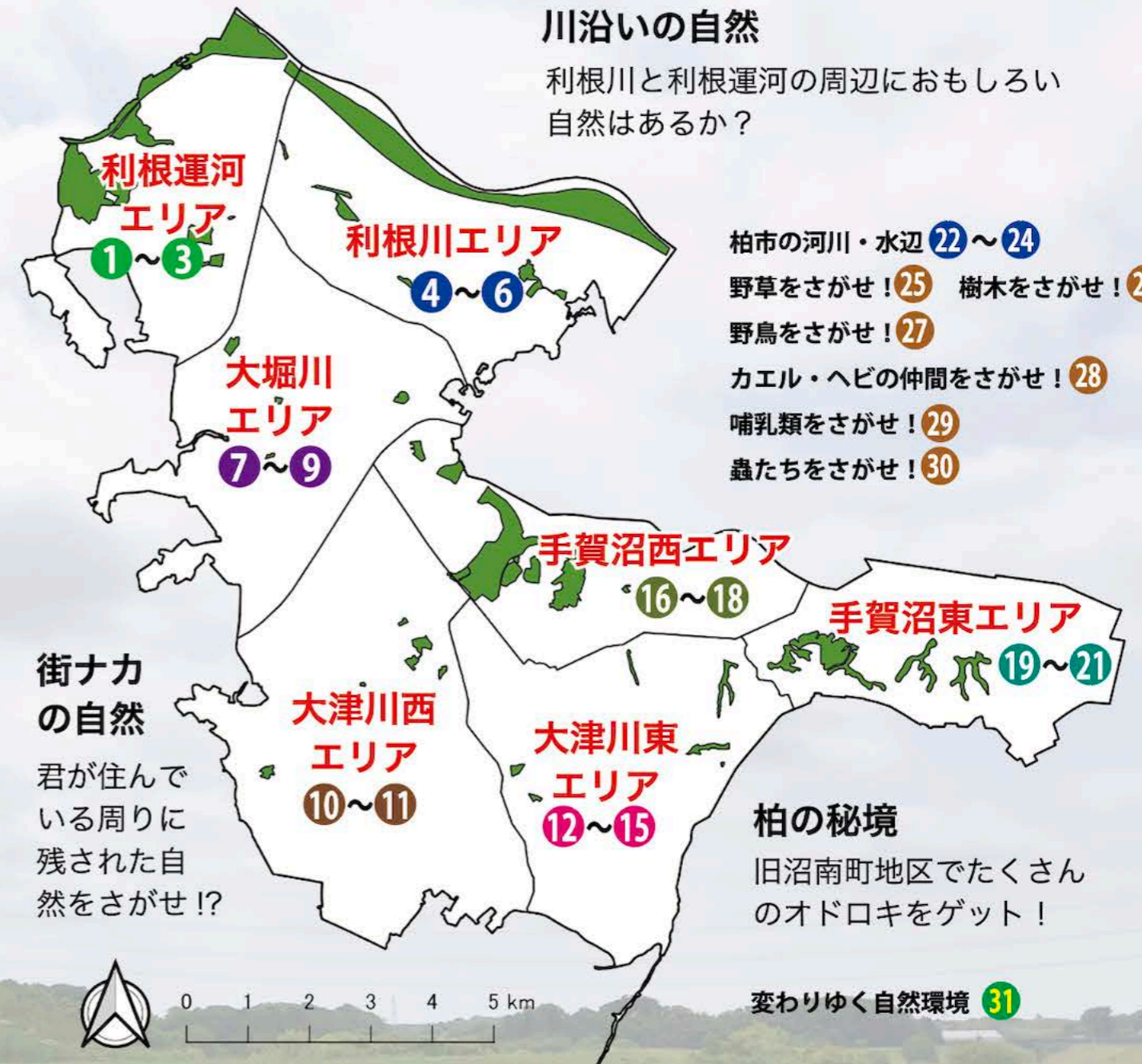
心配しなくても大丈夫。
このパンフレットには『柏のしぜん』を探すための
手がかりがたくさん詰まっています。

『柏のしぜん』は大切な宝物。

このパンフレットを手にとり、さあ出かけよう！
『柏のしぜん』を探す冒険に！

川沿いの自然

利根川と利根運河の周辺におもしろい
自然はあるか？



このパンフレットでは、エリアごとにその場所の自然を
調査しているボランティアさんが、その場所の自然の魅
力を語ってくれるぞ！

- 注意：私有地や田んぼの中には勝手に入らないように
しましょう。
次ページの「観察のやくそく」を良く読んで
から探しましょう。



観察のやくそく

観察のルール

- ✓ ペットショップの生きものや一度家で飼った生きものを野外に放さないこと。
- ✓ 目、耳、鼻、舌、手などをつかい全身で観察してみよう！ただし、舌を使う時は、毒のない生物かどうかわかる人に聞いてからにしよう！
- ✓ すごい発見や楽しい観察をしたら周りの人に伝えよう！
- ✓ 柵で囲まれた場所、立入禁止の看板がある場所、近所の人から入ってはいけないと言われている場所には入らないこと。

他人や生きものに迷惑をかけない観察スタイルをさがせ！



荷物は背負って両手をあけよう！

帽子は頭を守り、防寒や日よけにもなるよ

基本スタイル!!

バンドナやタオルで日焼けや虫刺され防止！

長袖



はき慣れた運動靴



長ズボン

ながら歩きは危険！

整髪料や香水で虫が寄ってくることもあるよ！

自然の音に耳を傾けよう！

ハチは黒色を攻撃するので特に夏から秋は注意！

虫刺されや植物のトゲなどに注意！

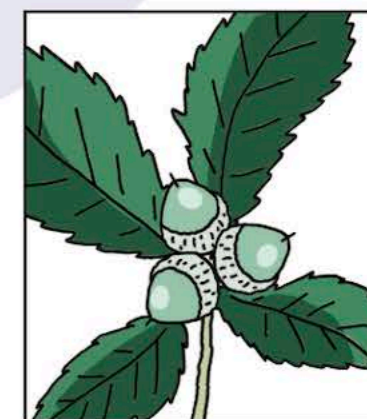
サンダルは脱げたり転んだりするかも、ヘビにも注意！



危険スタイル?!

服装の例

バッチリじゃなくても大丈夫。基本スタイルをおさえて場所や季節に合わせて選ぼう！自分にあったオシャレで快適な服装をさがせ！



1 利根運河エリア

大青田の森



市川さんが語る、利根運河エリアの魅力！

利根運河エリアは、利根運河、大青田の森、こんぶくろ池自然博物館などの面積の大きい自然地がたくさん含まれる、広大で自然豊かなエリアです。大青田湿地は利根運河が掘削されるまでは、利根川まで続く谷津であった湿地で、歴史ある景観でもあります。タヌキ、ノウサギ、ミドリシジミ、アサギマダラ、オオタカ、シュンラン、フデリンドウ、タツナミソウ等々、四季折々の様々な動植物を、散歩をしながら感動を伴って出会う事が出来る、市内に残された、そして将来に残したい、貴重な自然です。



利根運河



徳永さんのおススメ

利根運河のおすすめは、何と言っても春！
 陽当たりの良い土手では、柔らかな緑にスマシレやハコベ、タンポポなどが咲き集い、
 小さな昆虫達も生き生きと活動を始めます。中でも注目は、たくさん見られるベニシジミ。翅の紅色が特にあざやかで美しいチョウです。また土手では、水鳥や、キジ、猛禽類などの野鳥観察も楽しいでしょう。ぜひお散歩にいらして下さい。



ぬいえに挑戦！

ハクセキレイとセグロセキレイの色をぬって違いを見分けよ！



3 こんぶくる池 自然博物公園

山下さんのおススメ

こんぶくる池自然博物公園の中の森は、湧き水が流れる冷涼な空気に包まれた、まるで深山に迷い込んだようなおもむきの森です。

ズミやワタラセツリフネなどの湿性植物、黄金に輝くキンラン通りにミドリシジミが舞います。伝説の池ではハンノキの根元にヌマガヤが影を落とし、メダカが群れています。



大へびをさがせ！

こんぶくる池には、池の“ぬし”の大へびがいるというウワサ！手賀沼にも“ぬし”の大へびがいて、年に一回会う日があるそうだ。その日は風もないのにゴーゴーという音がするらしく、そういう日は地元では「こめら、うん寝る（子供は早く寝た方がよい）」と言われたようだぞ。

朝起きて、大堀川のフチに生える植物がなぎ倒されていたら、それは大へびが通った跡だ。

そんな大へびをさがしてみてもはどうだろうか？ただし見つけた時にどうなっても責任は負えないぞ！



参考図書：柏市教育委員会・こんぶくる池保存の会
「こんぶくる池」1984年3月発行



ズミ



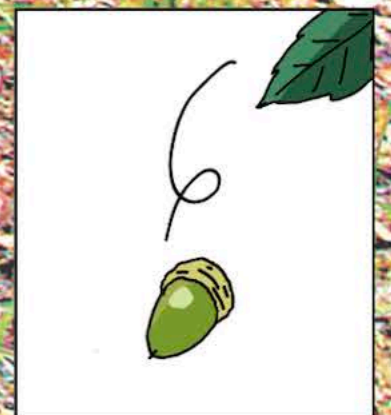
ワタラセツリフネ



ミドリシジミ



キタマゴタケ



4 利根川エリア

利根川河川敷



島田さんが語る、利根川エリアの魅力！



利根川本流の南側に水田を中心とした広大な耕作地、その外側に周囲堤、あけぼの山公園、柏ビレジ水辺公園などがあり、変化に富んだ地域です。柏ビレジ水辺公園の池には冬に沢山の水鳥が集まりその数は1,000羽を超えることも！

あけぼの山公園は、利根川の河川敷だった頃の名残で希少な植物や野草が多く残っています。少し先の水田ではトンボやカエル、鳥達にも出会えます。周囲堤は定期的に草刈りが行われ散歩には最高の一帯です。キンポウゲ、ツリガネニンジン、センニンソウやワレモコウが咲き乱れる季節に美しい花達に会いに家族連れで是非訪ねてみてください。



あけぼの山農業公園



利根川周囲堤

ツユムシもさがせ！

下の写真にはツユムシという
バッタの仲間がかくれているぞ！
どこにいるか探してみよう。
実際に草むらで見つけるための
訓練だ！



山本夫妻のおススメ

私達夫婦のお勧めは、日本らしい
自然と多様性の原風景が残る利根
川流域です。早春のアマナ、フデ
リンドウ、スミレ類、堤防の土手
一面に咲くウマノアシガタの見事な景観。夏は可愛いスズサイコ、
フナバラソウから、秋のワレモコウやツリガネニンジンの群生等
はどこにも見られない季節の花や昆虫の秘密の宝庫です。



柏ビレジ水辺公園

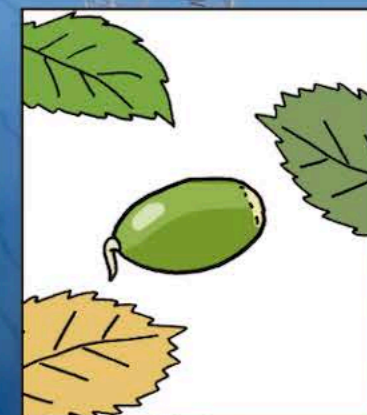
MIK さんのおススメ

遊水池を取り囲む水辺公園。池には水鳥が多く飛来し、特に冬場のカモ類は、マガモ・コガモ・オナガガモ・カルガモなど、多数見られて壮観です。サギやカワセミなども良く見られ、運がよければ魚を取る姿も見られます。公園内の樹林にはエナガやシジュウカラなどの小鳥が飛び交っており、バードウォッチングにおすすめてです。



カモを数えろ！

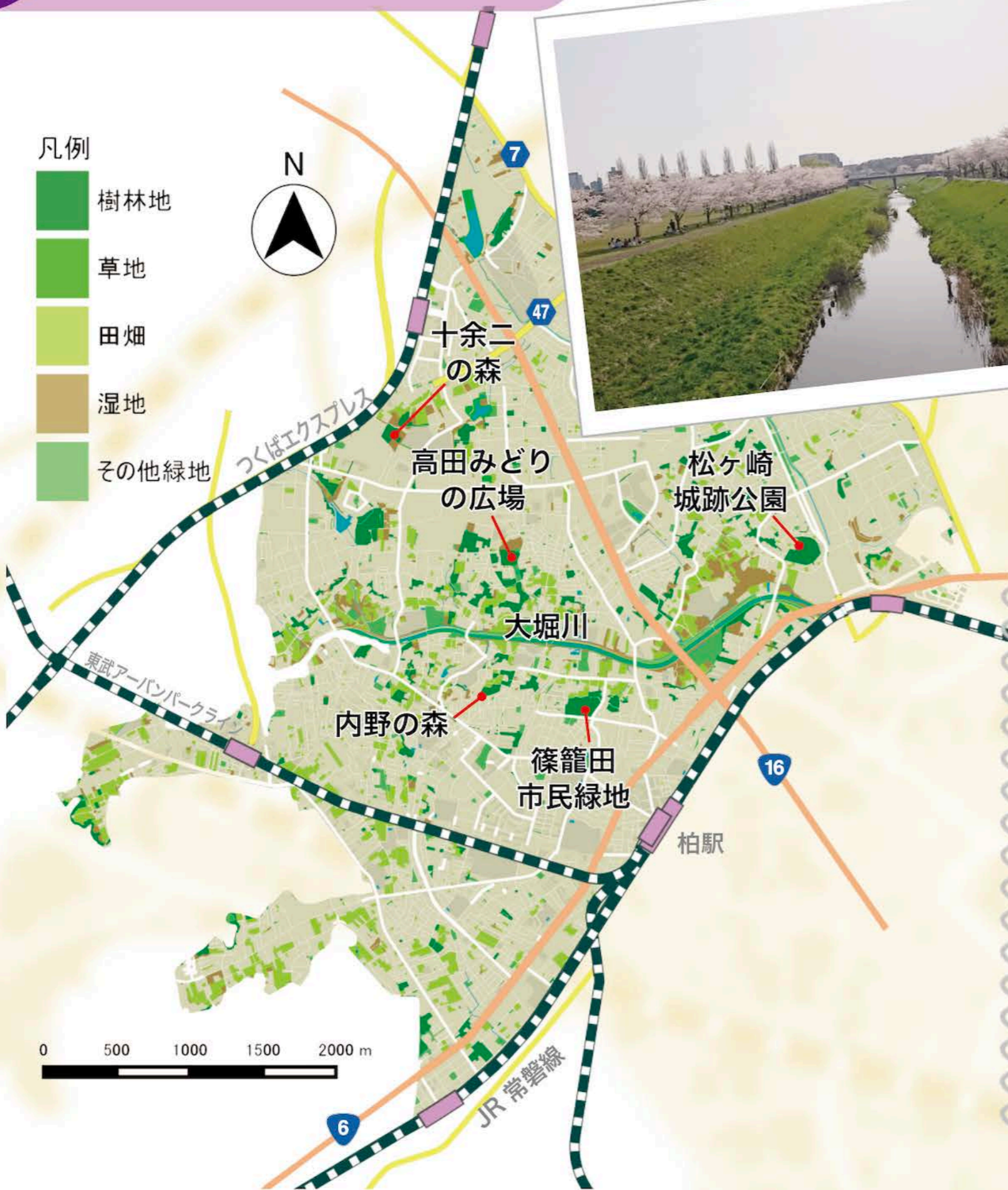
数を数えるのは自然観察の基本！下の写真にカモが何羽いるか数えるのだ！ちなみに製作スタッフが数えてみたところは129羽だったぞ！本当かどうか確かめよう！



7 大堀川エリア

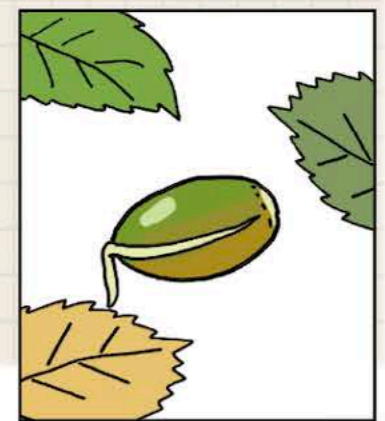
春の大堀川

篠籠田市民緑地



青木さんが語る、大堀川エリアの魅力！

このエリアは多くが市街地ですが、代々受け継がれてきた私有林、歴史を物語る城跡、市の街区公園等の緑地がオアシスのように点在します。いずれも規模は小さいですが生物相は思ったより豊かで、ノウサギが見られるところもあります。草刈りを続けていたらその刺激で眠っていた種子が目覚め昔の里山の植物が開花したりという喜びも味わいました。大堀川は水質が良くなって都市河川にしては水生生物の種類も多く、土の護岸のお陰で動植物も賑わっています。手近に自然を楽しむのがこのエリアの魅力です。森ガキ・川ガキになって遊びませんか。



高田みどりの広場

カップしをつなげ！

ルリビタキ



ジヨウビタキ



モズ



キビタキ



SIZさんのおススメ

高田みどりの広場のおススメは、四季それぞれの美しさを五感を通して感じることでできる森そのものです。ぐらりと一周すればプチ森林浴ができます。市民団体によって自然を残す整備がなされた森には、コブシや、イヌザクラなどの樹木の花も見られます。足元に咲く野草の可憐な花もおススメです。キツリフネ、ヒヨドリジョウゴなどの花もぜひ見つけて愛でてください。



コブシ



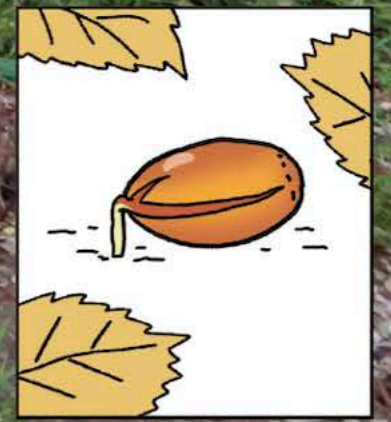
ヒカゲチヨウウとカナブン



マイズルテンナンショウ



イヌザクラ



9 松ヶ崎城跡公園



ウグイス

アリグモをさがせ!

クロオオアリの中にアリグモが2匹混じっているぞ!
アリグモをさがしだせ!



リモさんのおススメ

ここで初めて教わったのが、オトギリソウ（弟切草）。かわいい花なのにおそろしげな名前なので、ついちょっと引きながら見てしまいます。草原から、森へと入るあたりにあるのがクマシデ。葉っぱには側脈がぎっちりつまっている、太い幹では縦に裂け目があります。なんといっても立派な果穂が魅力です。



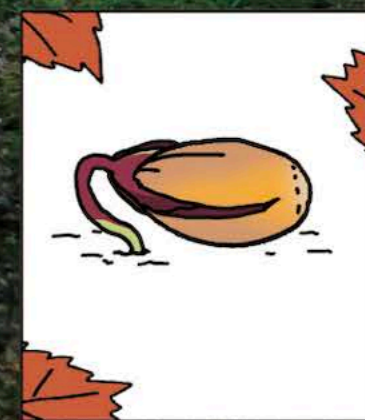
オトギリソウ（弟切草）



オトコエシ



クマシデ



10 大津川西エリア

山村さんが語る、大津川西エリアの魅力！

大津川西エリアの魅力は自然が人とのかかわりをもって守られているところです。住宅地を抜けて少し歩くと、そこには決して広くはないけれど思いがけない自然があります。ビオトープの小さな田んぼにカエルの合唱が聞こえ、城址公園の森では昔懐かしい素朴な草花が残されています。水辺にはサワガニやヤゴもいればバケツを持った親子もいます。近くの神社ではヤマユリの香りが参道に漂い参拝者を驚かせます。生き物や植物をずっと大切に守り続けている人たちがいて、そんな自然を楽しみにしてくれる人たちがいます。守りがいのある自然があってしあわせです。



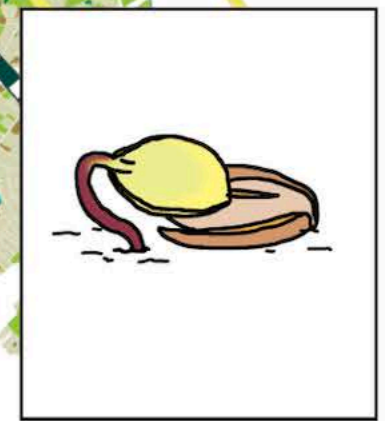
- 凡例
- 樹林地
 - 草地
 - 田畑
 - 湿地
 - その他緑地



下田の杜



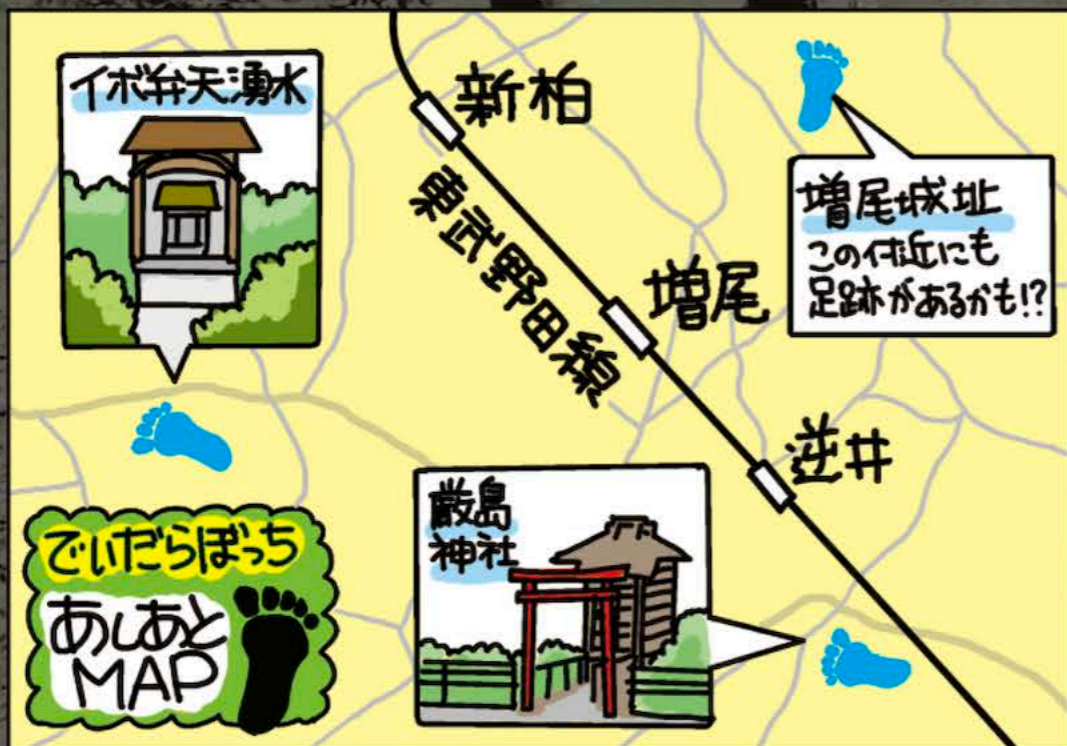
廣幡八幡宮



11 増尾城址総合公園と周辺

巨人の足跡を探せ！

柏には昔「でいだらぼっち」という巨人が住んでいたそうだ。でいだらぼっちの足跡は、柏のあちこちにあって、その足跡に水が溜まって池になっているぞ！増尾城址の近くにも足跡があるというウワサ。航空写真や地図を見て、巨人・でいだらぼっちの足跡を探せ！



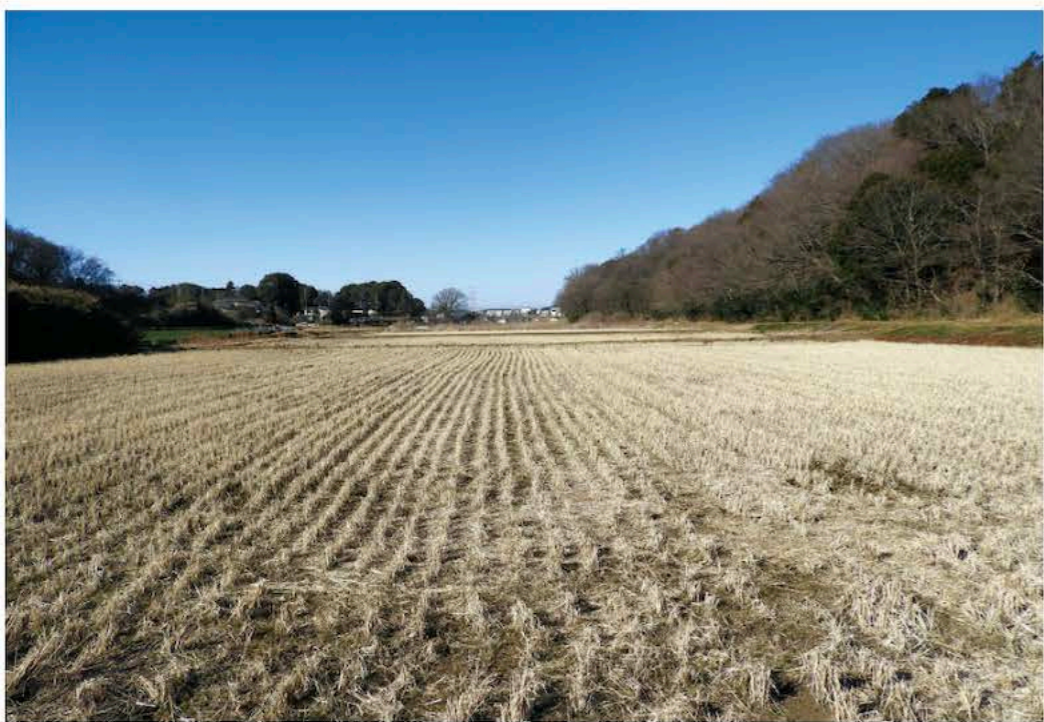
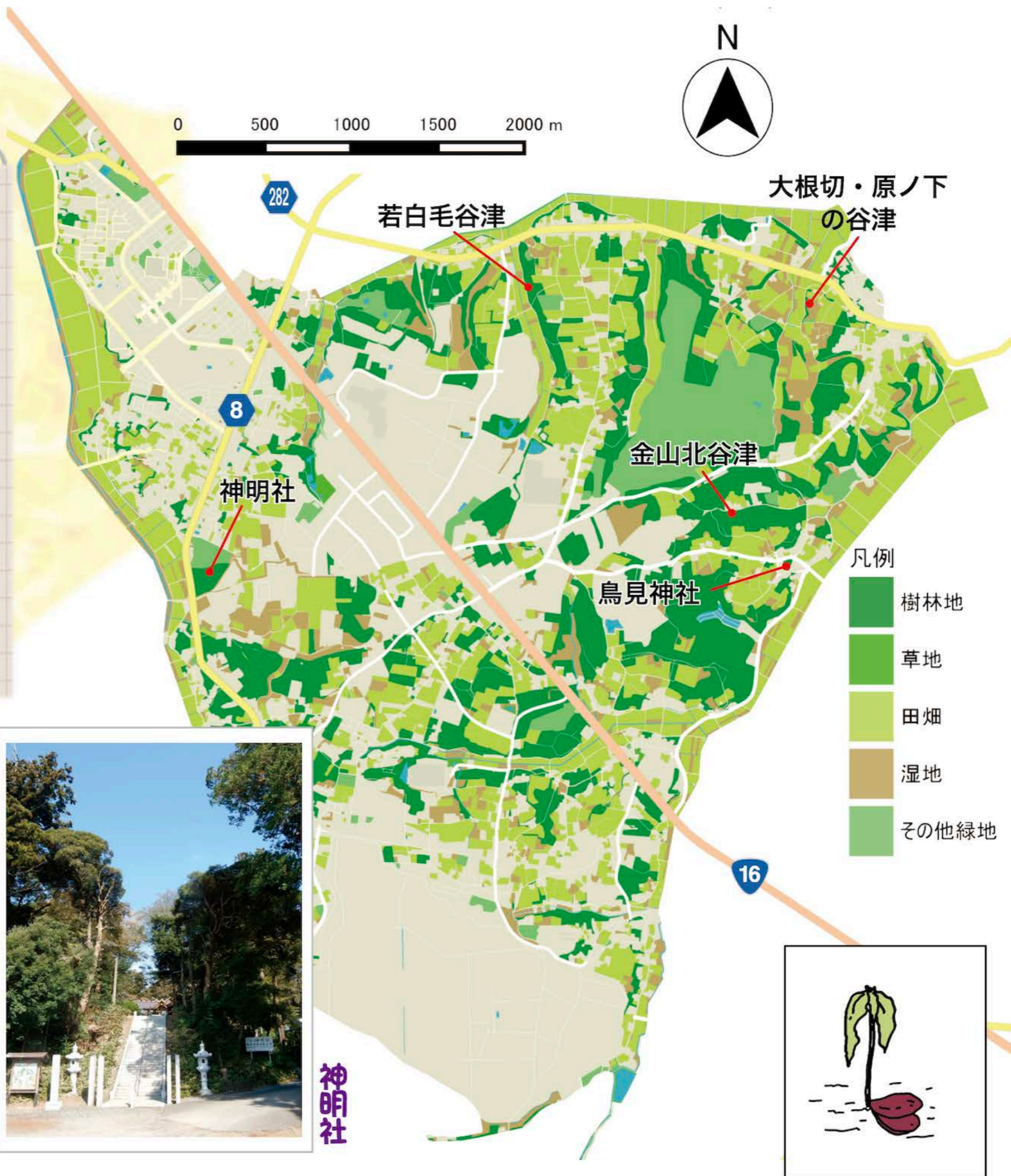
生沼さんのおススメ

増尾城址公園で私がオススメの植物は何といってもイチヤクソウ！イチヤクソウの花言葉は『恥じらい』だそうです。地面に向かって咲く白くて小さいかわいらしい花はまさに恥じらっているように見え、それがまたかわいらしく思えます。



森さんが語る、大津川東エリアの魅力！

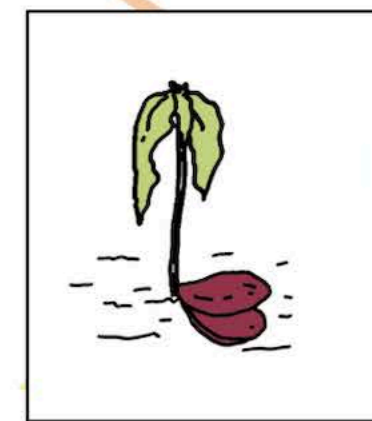
大津川東エリアの小高い台地、斜面の樹林帯、小川、水田が続く周縁部は谷津地形という生きもののゆりかごです。私たちは毎年生きものたちがほとんどいなくなった冬に、草刈りや水路整備、台風で散乱した落枝を片付けながら、生きものたちでにぎわう春に備えています。南の島で冬を過ごしたサシバなど夏鳥たちが戻ってくる春は、さえざりや咲き始めた花々に促され、にぎわいます。市街地に近いので散歩や写真を撮りに来る人にも出会います。都市近郊の自然は自然を楽しむ方々も含め市民全体の自然を大事にする気持ちがあって守られます。貴重な花々やメダカを皆で大事にしたいですね。

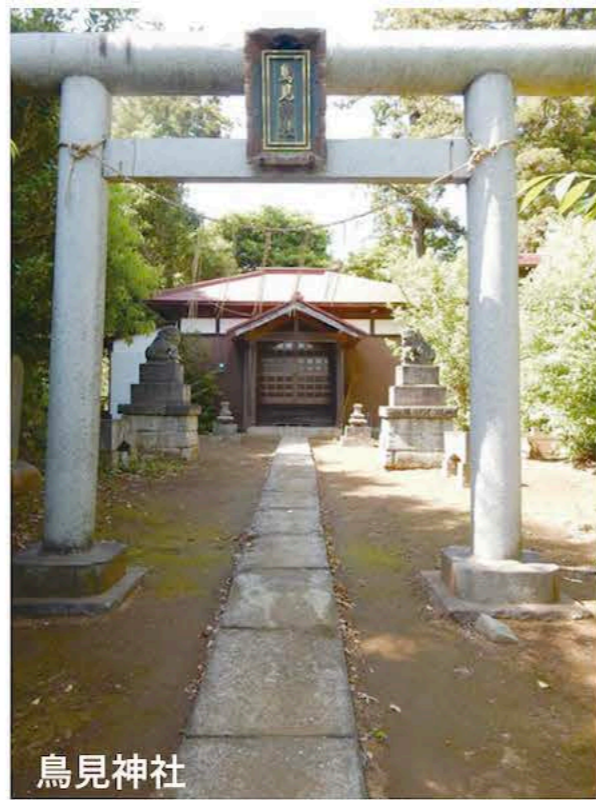


若白毛谷津



神明社





鳥見神社

剣持さんのおススメ

金山は拍でも典型的な里山で、見どころは6月から咲く北谷津のキツリフネ、秋に咲く台畑のキバナアキギリと、春の鳥見神社の三つです。春、東南アジアから渡り鳥のサシバが、金山を目指してやってきます。金山の希少生物は60種以上も残されています。大空に舞うサシバを探しに訪れませんか。



サシバ

ゴミグモもさがせ！

ゴミグモは自分の巣にゴミをつけて、自分の姿を隠している。普段はゴミになりきっていて、さわっても動かないほどの徹底ぶり！
右の写真からゴミグモをさがせ！



ゴミグモ



キツリフネ



サツマノミダマシ



キバナアキギリ



大根切・原ノ下



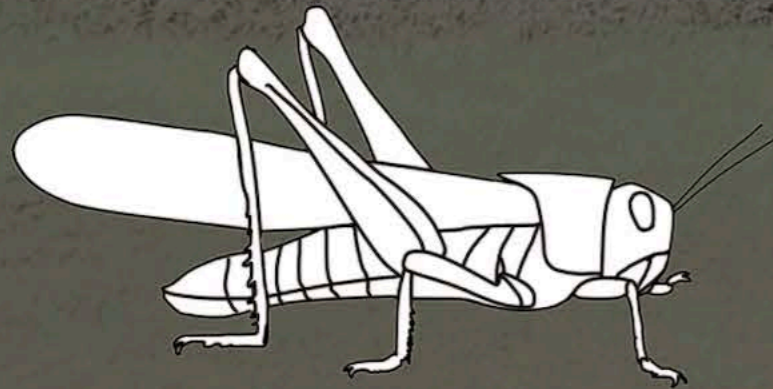
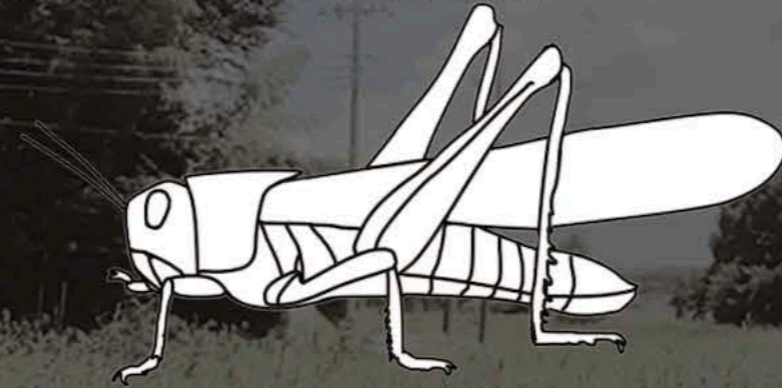
エサキモンキツノカメムシ

ぬいえに挑戦!

トノサマバッタとツチイナゴの色をぬって違いを見分けよ!



トノサマバッタ



ツチイナゴ

染谷さんのおススメ

大根切・原ノ下の樹林はとても深いです。その深い樹林の中では、希少種のタシロランや可愛いツチグリというキノコ、きれいな赤のカラスウリなどが見られます。タシロランはまるで白い妖精のごとく三週間ほどで跡形もなく消えてしまう神秘的な植物です。身近な場所でこのような自然に出会えてよかったと皆さんも思うでしょう。



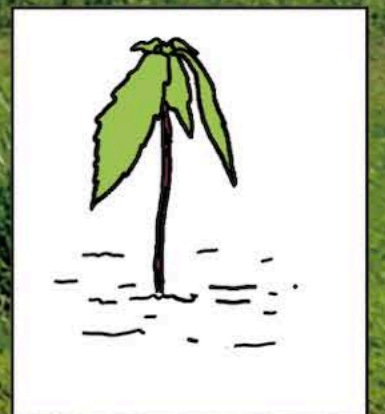
ヒメツチグリ



カラスウリ



タシロラン



16 手賀沼西エリア

中萩谷津

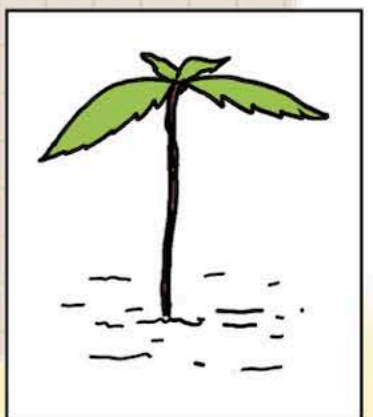


北柏ふるさと公園 (大堀川河口)



佐々木さんが語る、手賀沼西エリアの魅力！

手賀沼西エリアの第一の特色は広大な湿地帯です。手賀沼と大津川があり、その周囲は湿地と田んぼが取り囲んでいます。湖とヨシ原は野鳥を育み、田んぼの周りには珍しい草花が見られます。二番目の特色は豊かな谷津地形です。大小合わせて20近い谷津があり、斜面林が残された場所では美しい花が見られます。三番目の特色は里山風景です。旧沼南町地区は今もなつかしい里山風景を残しています。里山風景を愛でながらの散策、谷津斜面でタニギキョウの可愛い花との出会い、そして、ヒドリ橋でひょっとして珍鳥クイナと遭遇、などなど手賀沼西に来ていただければ楽しみが満載です。



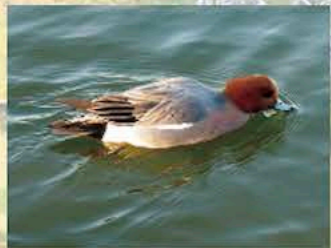
タケさんのおススメ

手賀沼と大津川に沿って整備された遊歩道を歩いてみませんか。沼と川と田んぼが一望でき、水に恵まれたこの地域の自然を満喫できます。もしお持ちでしたら双眼鏡を用意しましょう。滅多に見られない水鳥に出会う幸運に恵まれます。また、美しい湿生の花が見られるかもしれません。

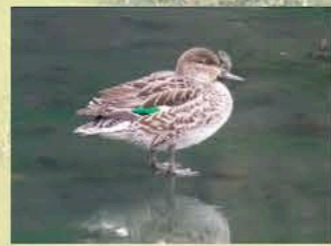


カップルをつなげ！

ヒトリガモ



コガモ



オナガガモ



マガモ



オオバン



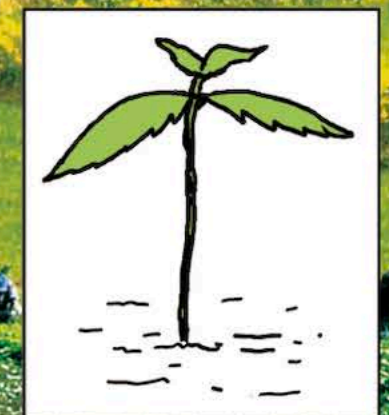
ジョウロウスゲ



タコノアシ



オニグモ

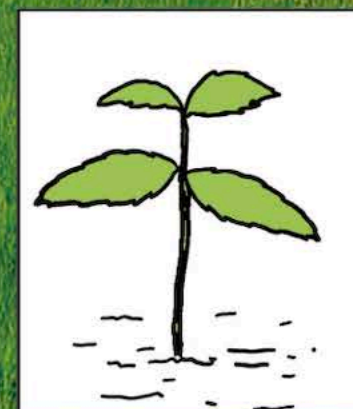


文京区立柏学園



加藤さんのおススメ

柏学園の北向き斜面林は、道から金網越しではありますが、春のイカリソウから始まり、初夏のチダケサシ、夏はヤマユリ・キヌタソウ、秋はツクバトリカブトなどなど、四季折々の山野草が皆さんの目を楽しませてくれるものと思います。散歩の道すがら少し立ち止まり美しく咲き誇る花々を愛でてみてはいかがでしょうか。



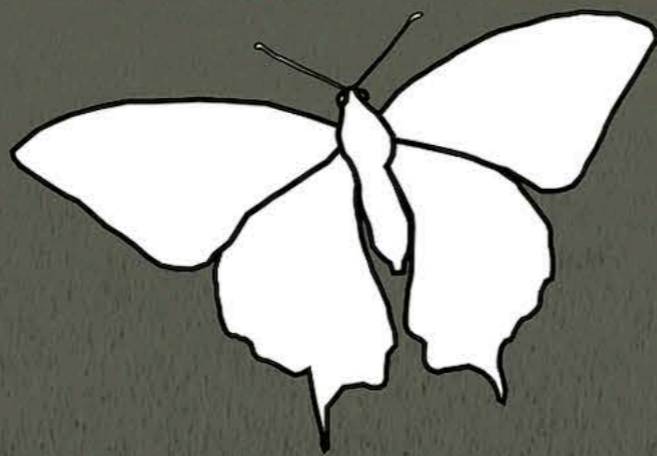
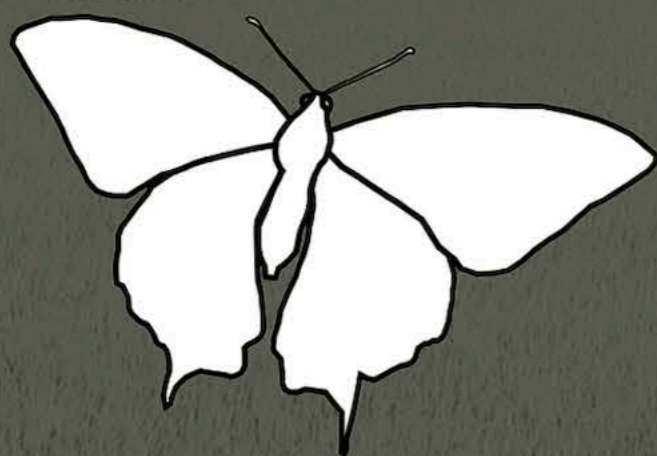
ぬいえに挑戦!

ナミアゲハとキアゲハの色をぬって違いを見分けよ! 幼虫の模様も違うぞ!

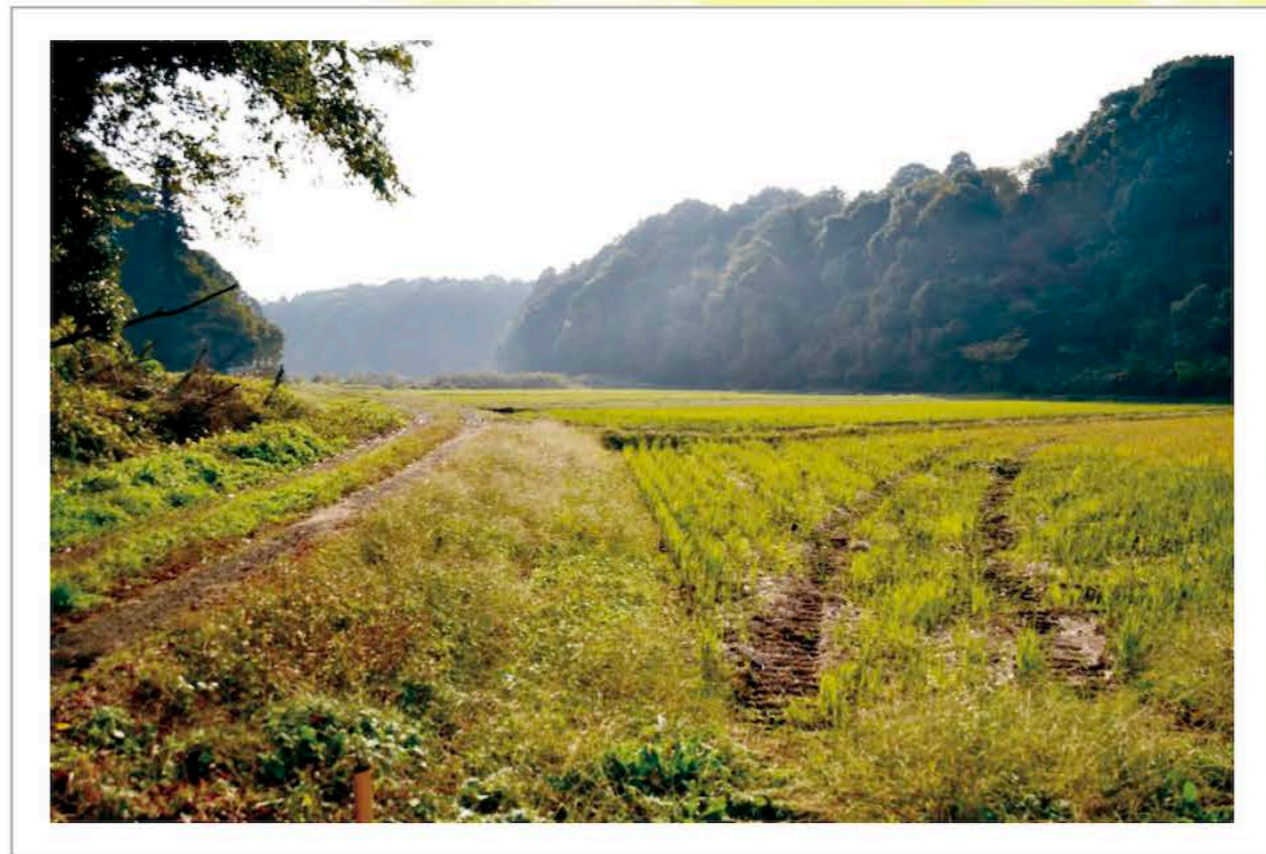
ナミアゲハ



キアゲハ

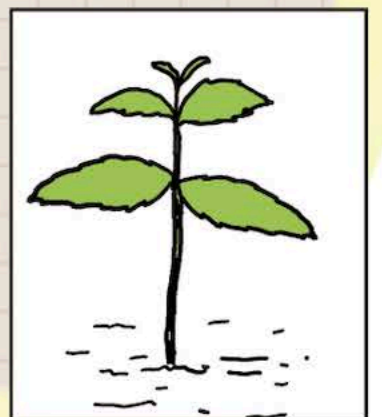


19 手賀沼東エリア



小島さんが語る、手賀沼東エリアの魅力！

手賀沼東グループの調査地域は旧沼南町に含まれ、市内でも人口密度が最も低いエリアです。谷津を中心に自然環境の悪化は残念ながら進んでいますが、市内の他のエリアと比べるとまだまだ自然度が高いエリアです。開花時期になるとキンラン・ギンラン・イチヤクソウが咲き誇り、コクランやキバナアキギリの群落が残っています。動物ではオオタカ・サシバ・フクロウなど里山の生態系の頂点となる猛禽類の生息が確認され、湧水が出る谷津ではサワガニやヘイケボタルが見られる市内でも大変希少なエリアと言えるでしょう。



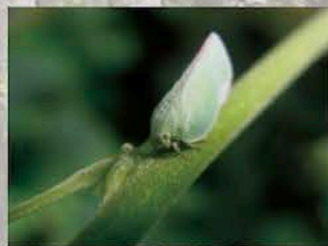
小野さんのおススメ

オススメは「ウラジロ」の大株です。手賀の丘公園内に見事な大株が知る限り2株生育しています。手賀の丘で初めてウラジロを見たときは、柏で見られるとは思っていませんでしたので驚きでした。春のくるくる新芽、葉を広げ切った夏、次の年の準備を終えた初冬それぞれに見応えがあります。

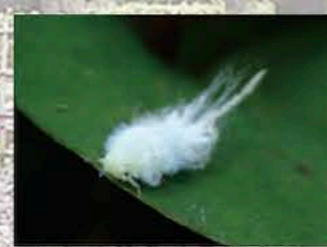
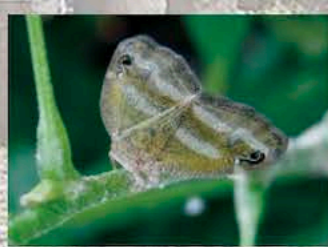


親子をつなげ！

アオバハゴロモ



ベッコウハゴロモ



ツマグロオオヨコバイ



オカダンゴムシ



ウラジロのくるくる新芽



ルリビタキ



ジョウビタキ



ササバギンラン



ホトギス





ギンラン

谷津もさがせ！

このページの背景写真のように、周りを丘で囲まれた細長い谷を「谷津」と言うよ。谷津には湧水があり、生きものがたくさん住めるんだ。地形を表した地図だと左下の図の赤線で囲った部分のような細長いギザギザに見えるぞ！



次のページにある柏市の地形図を見て、谷津を探してみよう！キミの住んでいる場所も、昔は谷津だったかもしれないぞ！？

小島さんのおススメ

手賀の丘公園の南西に隣接する場所で、歴史と趣のあるお寺・弘誓院（ぐぜいいん）から中台山を取り巻くように谷津が囲んでいます。春にはキンラン・ギンランが斜面林で開花し、湧水が出る谷津ではサワガニやホタルが、またアオダイショウやヒバカリなど爬虫類の仲間も観察される自然豊かなポイントです。



サワガニ



オニグルミ



キツネノロウソク



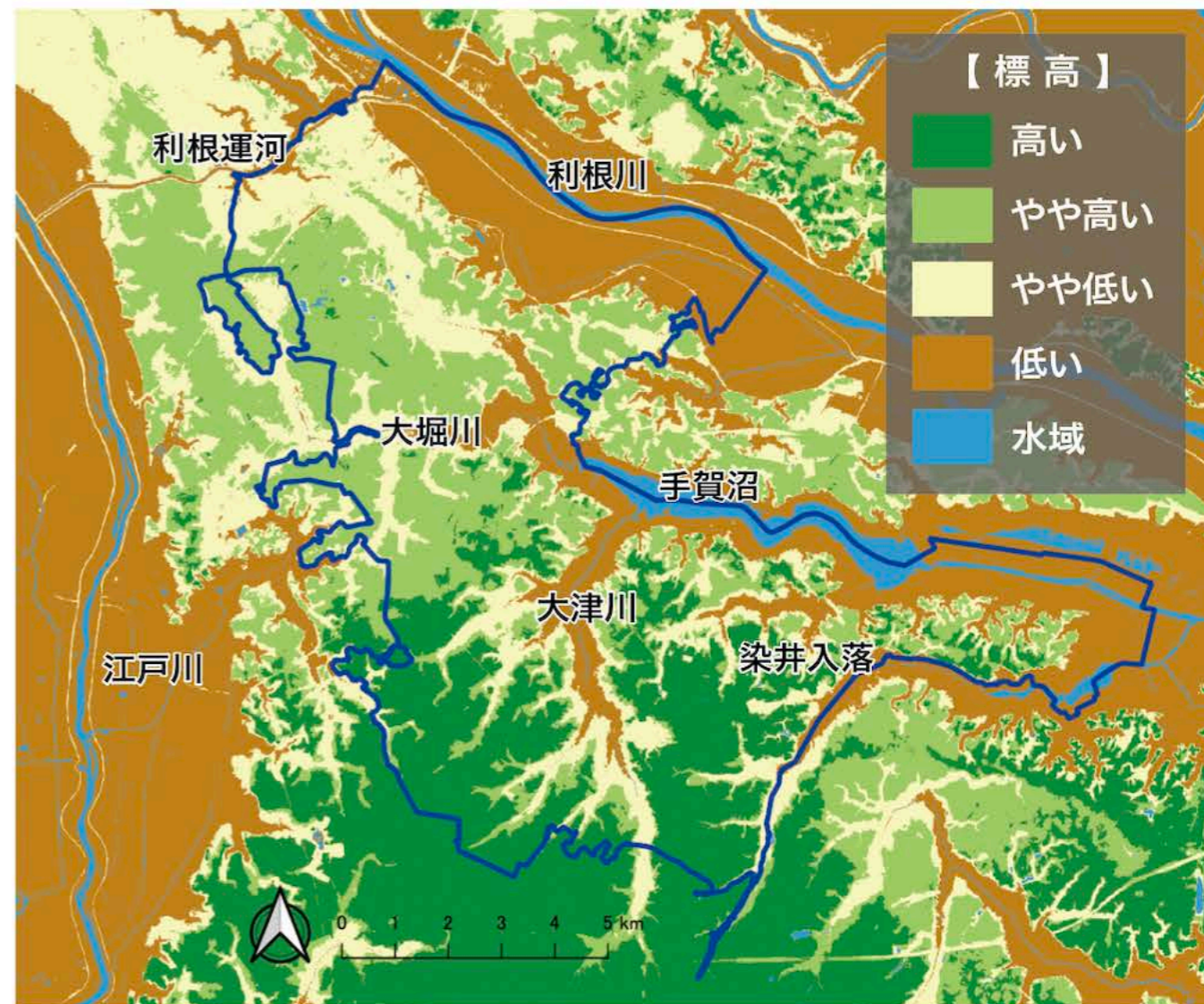
22 柏市の河川・水辺



河川改修前の染井入落

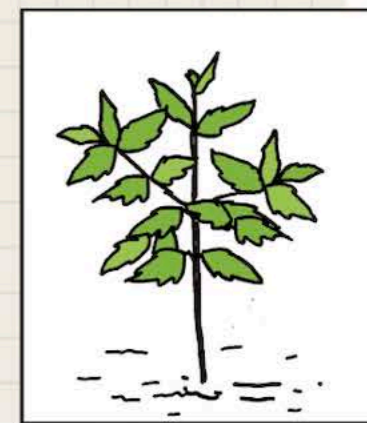


谷津田とニホンアマガエル



川瀬さんが語る、河川・水辺の魅力

皆さんの住んでいる場所はどこですか？そこに降った雨はどこに流れていくのでしょうか？柏市のほとんどの場所に降った雨は道路のU字溝、雨水管を経て川に流れ、そして海へと流れていきます。それだけでなく地面にしみ込んだ雨も地下で流れをつくりゆっくり川に流れたり、低い場所から湧き出したりします。柏市はこうした地下水がもともと豊富で以前は市内の井戸水が水道水として多く使われていました。季節によりいろいろな姿を見せる川。皆さんも近くの川で魅力を再発見してみてくださいか？！



大津川

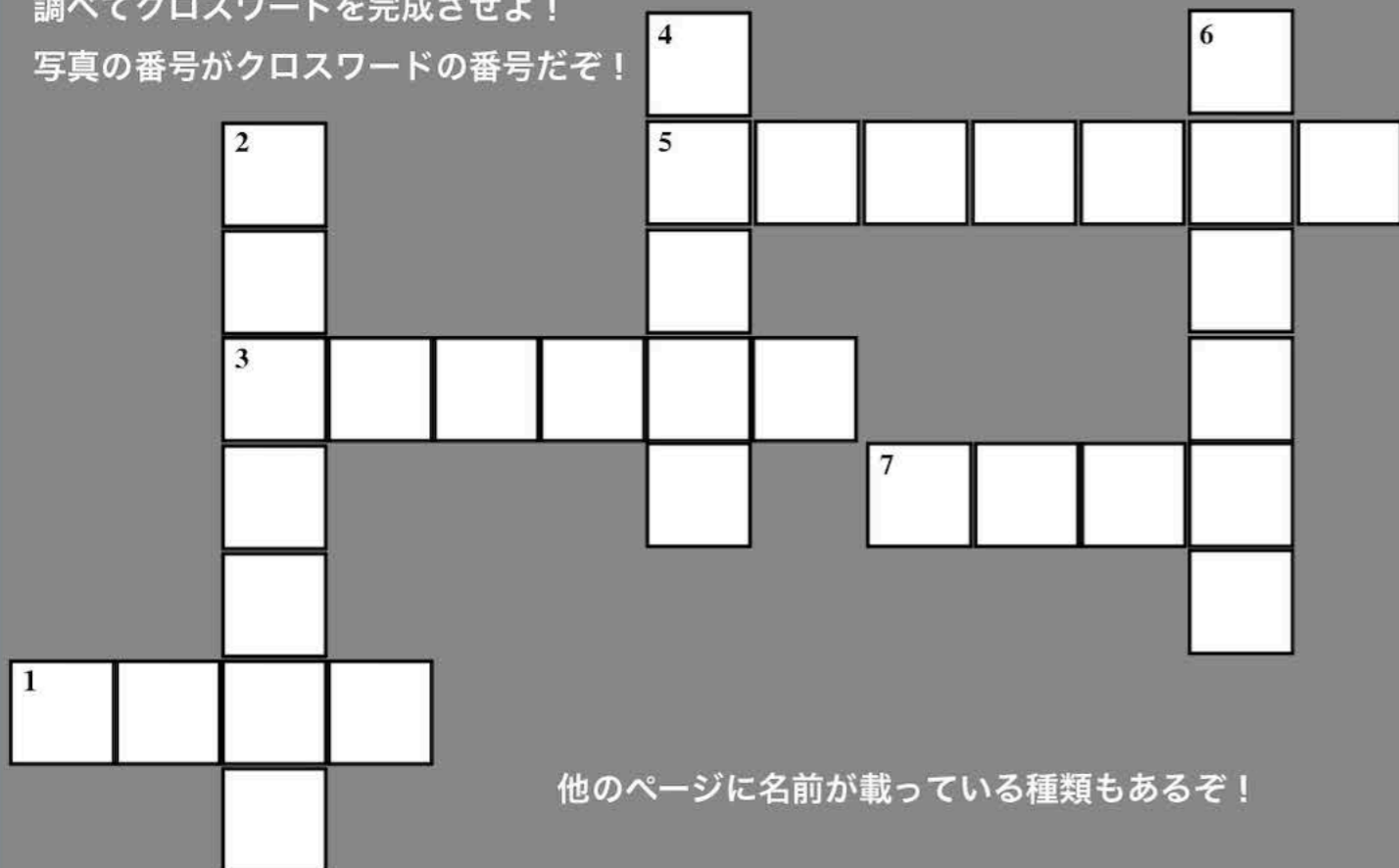
河川・水辺の生きもの



河川改修後の染井入落

クロスワードをとけ!

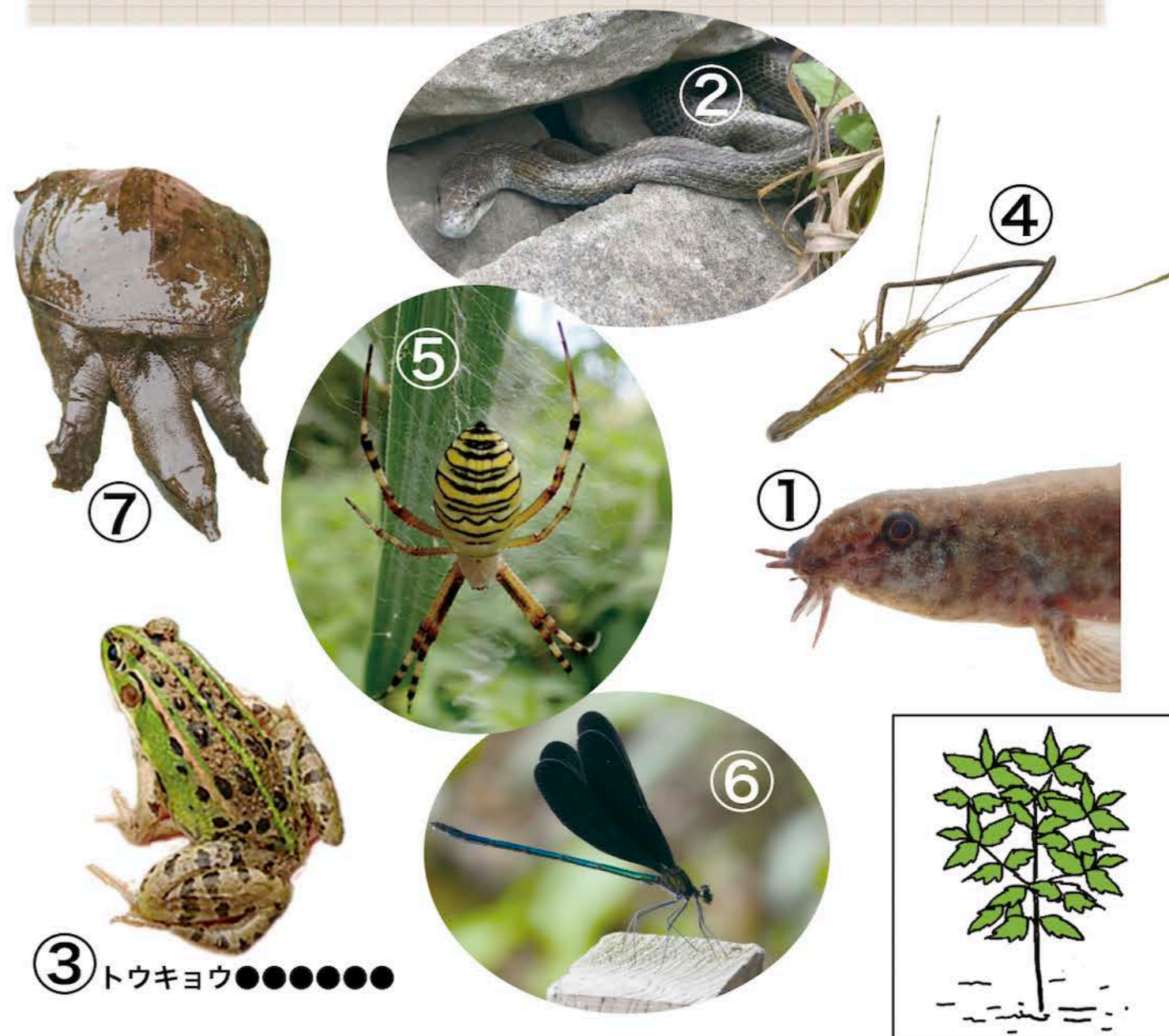
このページの写真の生きもの名前を調べてクロスワードを完成させよ!
写真の番号がクロスワードの番号だぞ!



他のページに名前が載っている種類もあるぞ!

明子さんのおススメ

染井入落（そめいりおとし）では河川工事後、水の中に生息する生物の数は減ってしまいました。でも、河川周辺には田んぼや林がまだたくさん残っていて、猛禽類やヘビ・トンボなど、大きな鳥から小さな虫まで数多く観察できます。生きもの達はしっかり命を繋げています。ぜひ会いに行ってみてください!



③ トウキョウ ●●●●●●●●

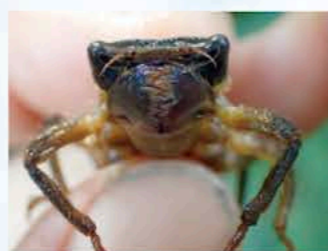
谷津田の生きもの



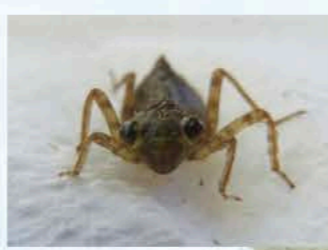
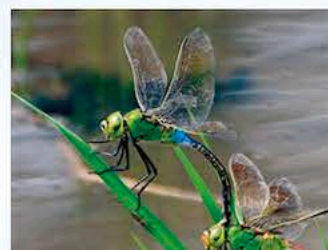
マメシジミ

親子をつなげ！

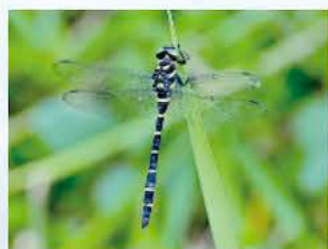
サワガニ



ギンヤンマ



オニヤンマ



シヨウシヨウトンボ



小川さんのおススメ

観察ポイントのおススメは「湧水口」。湧水は地層の中の砂を巻き上げて出るので、周囲の土との色の違い、砂に触れたときの感触などで出口が分かります。何層もの地層にろ過された不純物の少ない水、地下の温度と同じで一年中水温がほぼ一定なので、ここでしか生息できない生きものの貴重な住処。サワガニやオニヤンマのヤゴをぜひ見つけてくださいね！



イオウイロハシリグモ



カワゲラの幼虫



ミズムシ



オオヒメゲンゴロウ





●キンラン

春に森の中で咲く絶滅危惧種。暗い森でも地中でこのから栄養をもらって生き延びているぞ。キンランのある自然が豊かな森をさがせ！

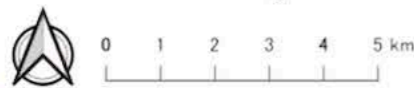
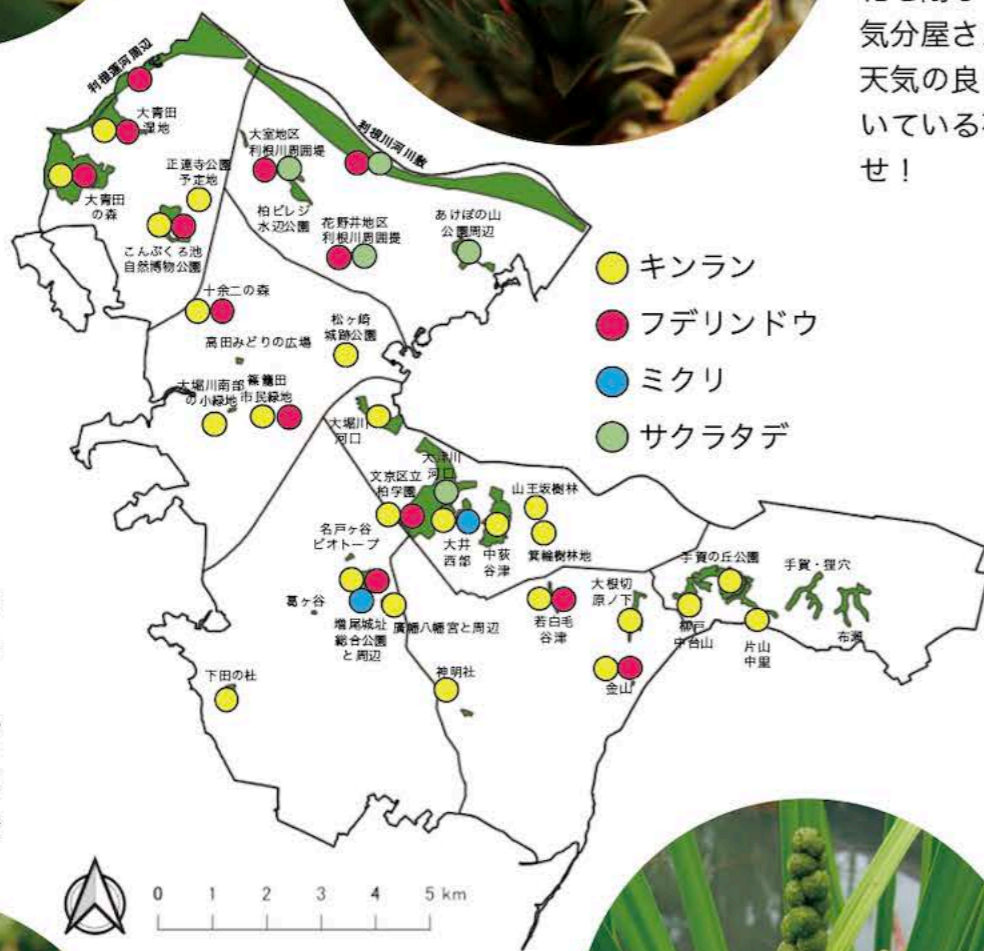


●フデリンドウ

森の中で春に小さな青い花を咲かす。曇りや夜になると花を閉じてしまう気分屋さん。天気の良い日に咲いている花をさがせ！

●サクラタデ

夏から秋に桜のようなピンクの花を咲かせる野草。河川敷や田んぼのあぜで多く見られるぞ！草原に住むバッタも一緒にゲットだ！



●ミクリ

栗のようないがいがした実をつける絶滅危惧種。川や池などの水辺に生えるぞ！ミクリの生えられるきれいな水辺をさがせ！



●コブシ

桜の咲く時期に大きな白い花を咲かせるぞ。お花見がたらコブシの花もさがせ！面白い形をしている実も観察してみよう！

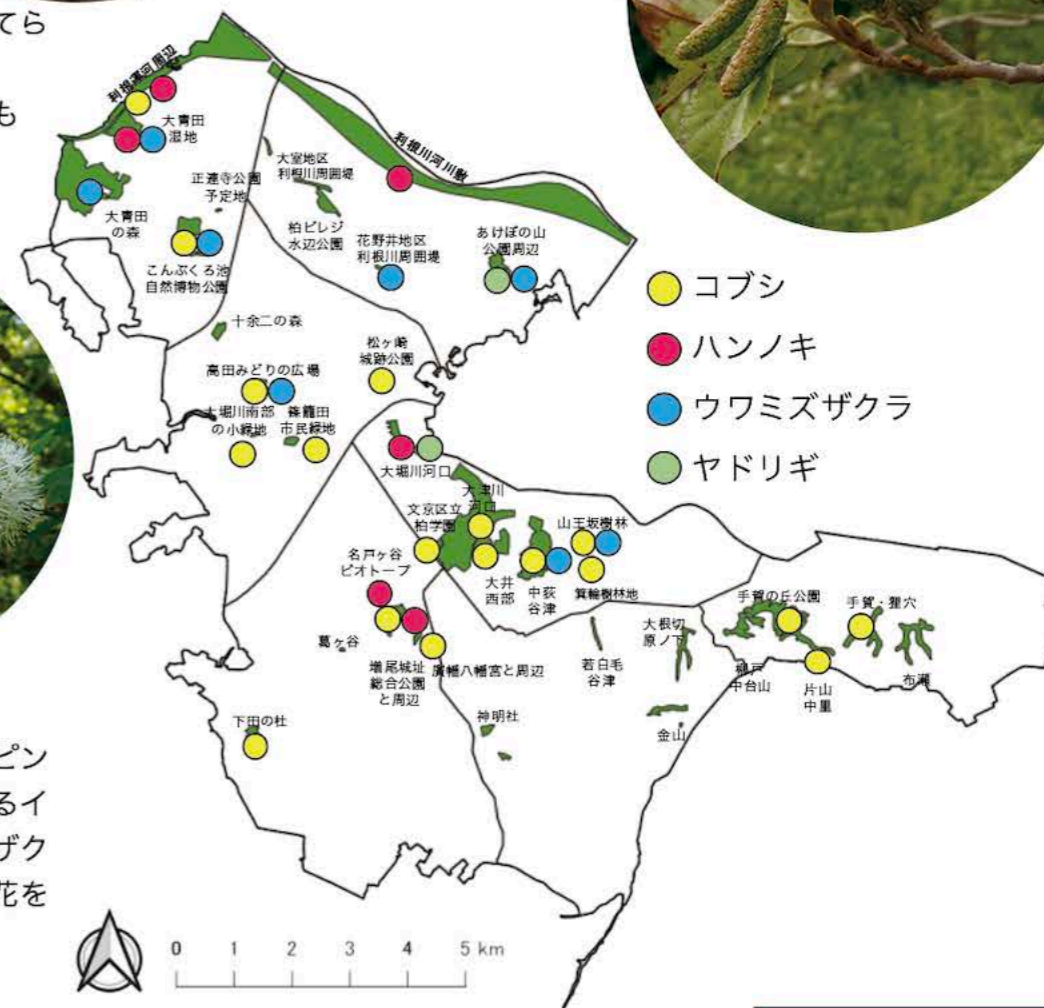
●ハンノキ

湿った地面が得意で河原や湿地に生えているぞ。秋に緑のまま葉っぱを落とすのが特徴。丸くてかわいい実も探してみよう！



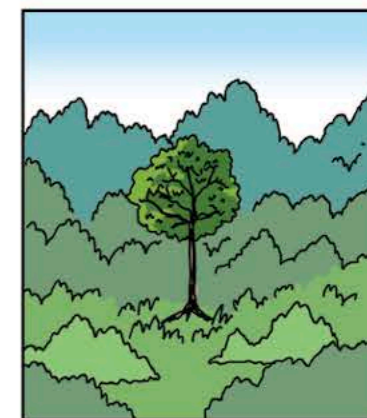
●ウワミズザクラ

桜と言えうすいピンクの大きな花を咲かせるイメージだが、ウワミズザクラは地味だけどシブい花を咲かせるぞ！



●ヤドリギ

木の上に生える木。実は甘くて美味しいけど、ウンチがネバネバになる。鳥のウンチに入ったネバネバのタネが木につくと生えてくるぞ！



27 野鳥をさがせ！



●カワセミ
青くて綺麗な鳥。魚やザリガニがいれば街中の川でも意外と見られる。川岸から狙いを定めて飛び込む姿はカッコいいぞ！

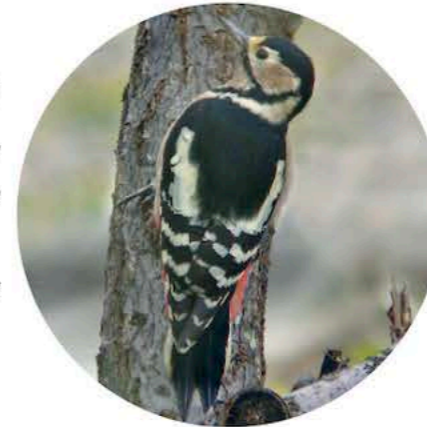


●サシバ

里山を代表するタカの仲間。喉の下の黒い線が特徴。くるくる飛びながら餌を探している。ヘビやバッタを狩る姿をさがせ！

●アカゲラ

キツツキの仲間。くちばしで木に穴をあけて餌を探したり巣穴を作るぞ！森でコンコンと音がしたらアカゲラをさがせ！



●コウノトリ

お隣の野田市で野生復帰させているとても大きな鳥。鳴かない代わりにクチバシをカチカチ鳴らすぞ。柏でも見られるかもしれないぞ！



●キジ

昔話『桃太郎』に出てくる有名な鳥。畑や草むらに隠れているぞ。春には家族で歩いていることも。日本の国鳥キジをさがせ！



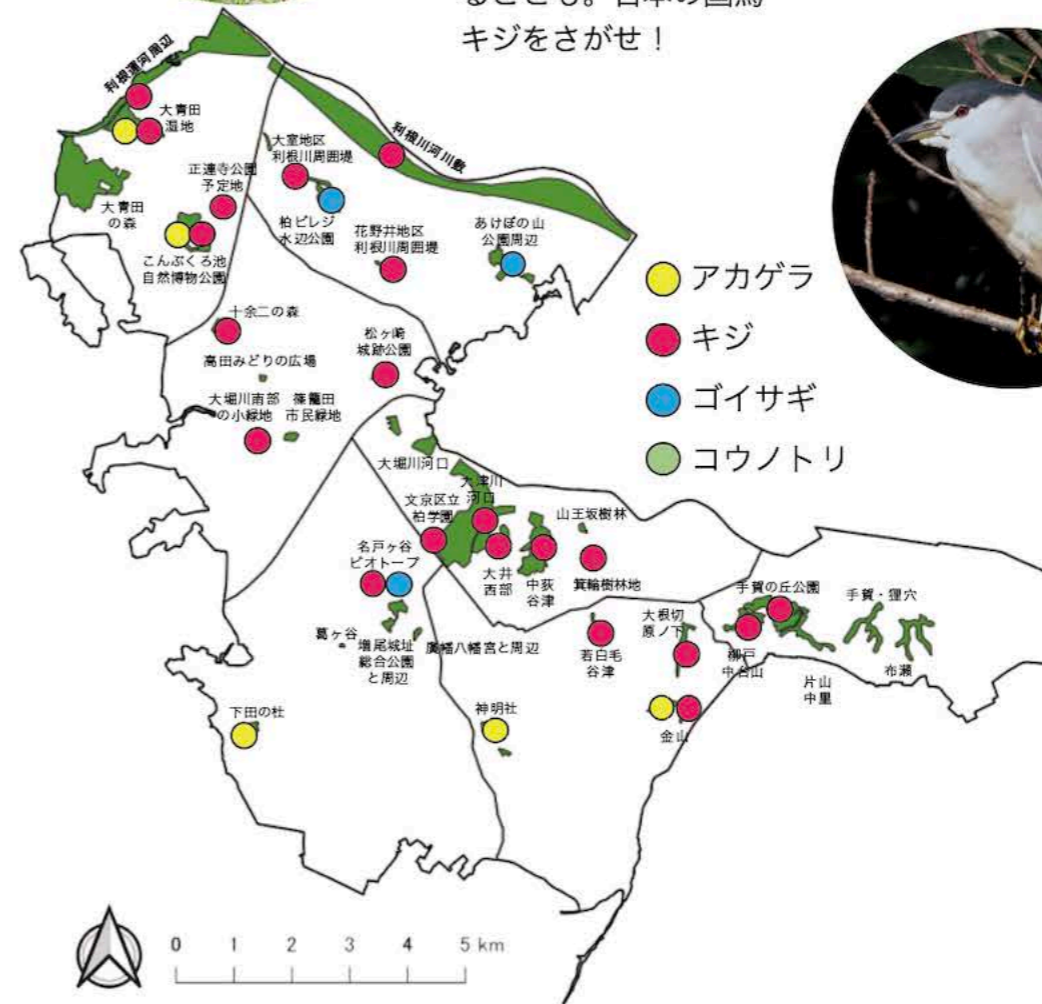
●セグロセキレイ

しっぽを振りながら、河原などの水辺を歩いているぞ。飛んでいる虫を見つけると飛び上がってキャッチするぞ！



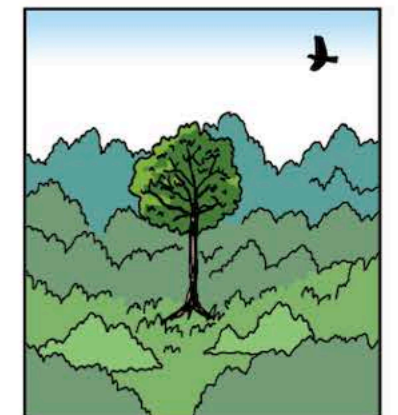
●オナガ

名前の通り長い尾羽を持つ鳥。柏市の鳥に指定されていて住宅地でも普通に出会えるぞ！キレイな水色の羽が特徴だ！



●ゴイサギ

ペンギンのような色をしている水辺が好きな鳥。昼間は木の上などで休む夜行性。小魚や昆虫を素早い動きで捕まえるぞ！



●ヤマカガシ

赤と黒のしま模様のヘビ。毒があるので気をつけた方がよいが、攻撃をしなければ噛まれることはない。慎重に探しながら歩け！



●ニホンアカガエル



普段は森の中に住んでいて、春の産卵の時は水辺にやってくる。アカガエルの産卵とオタマジャクシの住める水辺をさがせ！



●ニホントカゲ

石の上で日光浴をしているのが見つけやすい。青い尻尾を持つ子供のトカゲを探せ！尻尾を持つと尻尾をちぎって逃げるぞ。



●トウキョウダルマガエル

1年中水の近くにいる。トノサマガエルに似ているけど、関東にいるのはこの種類。ほっぺたを膨らまして鳴く姿をさがせ！



●ノウサギ

河原や広い草むらに住んでいるが、警戒心が強く見つけるのは難しいぞ。コロコロしたウンチが特徴だ。まずはウンチをさがせ！



●ホンドタヌキ



森や草原、町の中、意外と身近に住んでいる。ウンチを同じ場所でする”ため糞”という習性がある。散歩しながらタヌキとため糞をさがせ！



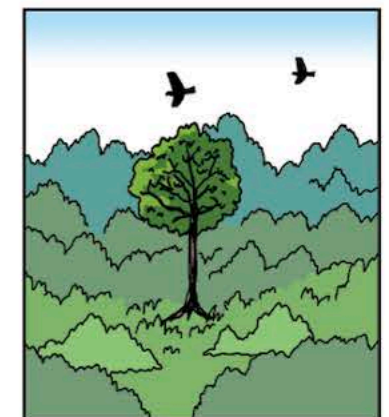
●カヤネズミ

ススキなどの植物を編んで子育てのための巣を作る小さなネズミ。宇宙船のような巣をさがせ！でも驚かせないようにそっと観察しよう。

●ハクビシン



漢字で書くと白鼻芯、鼻の一本線が特徴。木登りが得意で昆虫、小動物、木ノ実や果物なんでも食べる雑食の動物だ！





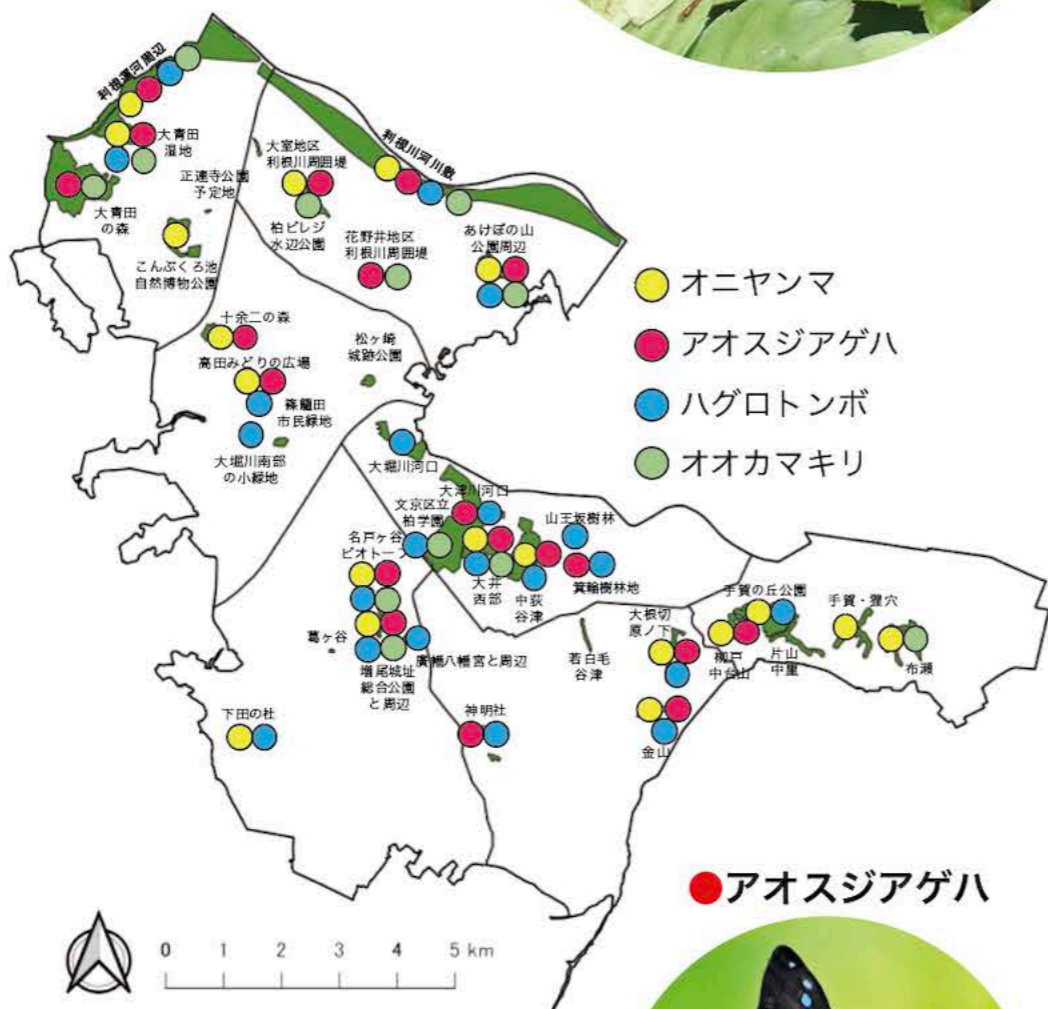
● オオカマキリ

日本で一番大きなカマキリ。目を見ると睨み返してくるぞ。探したらカマの攻撃に気がつけながら、背中をつかんで捕まえよう!



● オニヤンマ

水辺で見られる大きなトンボ。背中模様が見える。色々な虫を空中でキャッチして食べてしまうぞ! 緑の目もきれい。



● ハグロトンボ



森の中や草の多い河原などが好きなトンボ。黒い羽を良く見ると、オスの羽はキラキラ光っているぞ! よく観察してみよう。

青空のような綺麗な青い羽を持つチョウ。幼虫はクスノキが大好物。成虫は、普段は丸めている長い口で花の蜜を吸うぞ!



● アオスジアゲハ



● ヤマトタムシ

緑でメタリックな体をしたきれいな虫。良く見るとククリククリの目がかわいくて、体の裏側や羽の中もきらきら!

● オケラ



不思議な形をしているけど、実はバッタの仲間。穴を掘ったり泳いだりするのが得意。手のひらに置くと指の間を掘ってくるぞ!

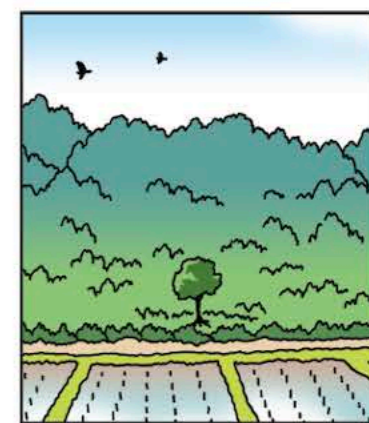
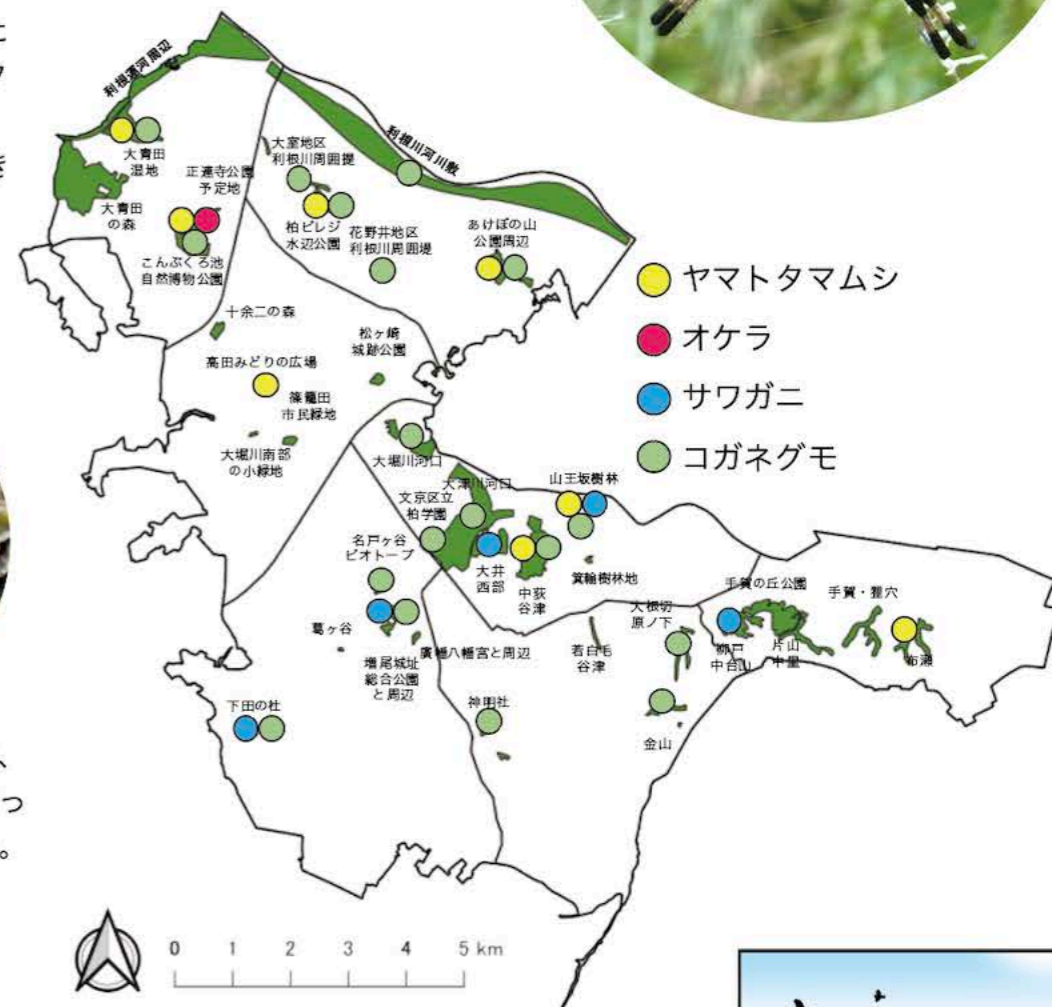


● サワガニ

一生を真水で過ごすカニ。裏返しにするとオスとメスを見分けられるので挑戦してみよう! 実は日本にしかないぞ。

● コガネグモ

黄、白、黒のストライプがおしゃれなクモ。よく見るのは全てメスで、オスはすごく小さくて巣の端っこにいます。探してみよう。



31 変わりゆく自然環境

柏市では様々な理由から年々少しずつ自然環境が失われてきています。右の写真は2008年から2018年までの10年間で自然が失われてしまった場所のものです。

今、私たちが当たり前のように暮らしている場所も、かつては野原や森、谷津、田んぼといった様々な生きものを育む自然豊かな場所でした。

これからも変化をし続ける『柏のしぜん』。

私たちは、今後どのように『柏のしぜん』とかかわったらよいのでしょうか？

このパンフレットで紹介した場所も『柏のしぜん』のほんの一部でしかありません。もっと自然を探したい。自分でみつけた自然を守りたい。そういう人が増えて欲しい。そうした思いをこのパンフレットに込めています。

探すことから始めよう『柏のしぜん』を
伝えよう『柏のしぜん』を
楽しもう『柏のしぜん』を

柏市, 「さがせ! 柏のしぜん」製作・協力者一同



「さがせ! 柏のしぜん」

- 発行元：柏市環境部 環境政策課
- 発行日：2019年3月
- 発行元：柏市
- 監修：NPO法人 かしわ環境ステーション
- 協力：柏自然ウォッチャーズ
- イラスト：あべかよこ（マンガ家 柏市在住）
- 写真提供（五十音順）：相澤章仁、青木保雄、市川清、川瀬美幸、剣持武、小島久佳、佐々木光正、篠崎将、島田幸生、田中愛子、田中二三、中川静枝、森拓人、藤原俊和、山口由木、山村和子、山本修史、吉田峰規
- 編集・印刷：OXO Creative
- 無断転載厳禁

※クイズ等の回答は柏市のWEBサイト「かしわエコサイト」と、かしわ環境ステーションのWEBサイトに掲載しています。

